

# 役員会報告

— ダイジェスト版 —

## 10月度 定例役員会

1. 開催日時 平成25年10月8日(火) 午後5時30分より  
1. 出席役員 理事10名、監事2名

議事の概要は次のとおり

### 第1号議案 「ぶんだら踊り」参加費用の精算について

事務局から、別紙により詳細説明があり承認を求めたところ、全員異議なく賛成にて可決。

**報告議題** 事務局から、下記の項目について報告があり、全員異議なく了承した。

1. 全管連手帖の斡旋について
2. 「職長・安全衛生責任者教育（リスクアセスメント導入）」開催案内・・・建災防
3. 既設一部先行工事配管を使用した二次側申請時の注意事項—水道局
4. 石綿作業主任者技能講習の開催について・・・建災防
5. 組合ホームページ「組合員の紹介ページ」の掲載事項について
6. 「自由研削といし取替試運転作業者の特別教育」開催について・・・建災防
7. 講習会のご案内（平成25年10月～26年3月）・・・キャタピラー教習所(株)
8. 平成25年度 登録配管基幹技能者講習のご案内
9. 平成25年度 技能検定試験実施のご案内（配管技能士）

## 11月度 定例役員会

1. 開催日時 平成25年11月12日(火) 午後5時30分より  
1. 出席役員 理事10名、監事2名

議事の概要は次のとおり

### 第1号議案 年末、年始の主要日程について

事務局から別紙により、年末年始の主要日程について提案。原案どおり全員賛成にて可決。

### 第2号議案 組合本部建物の防水補修工事について

事務局より、本部建物に雨もりの個所が出てきたので、防水業者に見積ってもらったところ、別紙のとおりとなったので補修工事をしたい旨、了解を求めたところ、全員異議なく賛成にて可決。

### 第3号議案 平成26年度 組合の年間休日カレンダーについて

事務局より、労働基準監督署への届け出のため、平成26年1月～12月31日までの組合の年間休日カレンダーについて別紙により提案。全員異議なく賛成にて原案どおり可決。

### 第4号議案 組合職員の年末賞与の支給について

事務局から、例年通りの支給としたい旨提案。全員異議なく賛成にて可決。

### 第5号議案 パソコン・CADソフトの買い替え購入について

事務局から、別紙見積書により提案。全員異議なく可決。

**報告議題** 事務局長より下記の項目について、報告があり、全員異議なく了承した。

1. 水道施設等の破損事故について・・・水道局
2. 「職長・安全衛生責任者教育（リスクアセスメント導入）」開催案内・・・建災防
3. 各種講習会実施表（12月～1月）・・・労働基準協会
4. 各種講習会日程表（12月～3月）・・・建災防
5. 標準見積書の活用による法定福利費の内訳明示について（社会保険未加入対策）



# 組合の動き

## 災害時におけるレンタル機材の提供に関する協定の締結 西尾レントオール株式会社 — 和歌山県管工事業協同組合連合会



和歌山県管工事業協同組合連合会は西尾レントオール株式会社との間で、平成25年6月26日、小向俊和県連合会会長と西尾レントオール(株)取締役橋本宏治大阪支店長の出席のもと、災害時におけるレンタル機材の提供に関する協定書を締結しました。

和歌山県では、東南海地震の発生や風水害等の災害発生が予想され、災害発生時における水道施設の早期復旧には、資機材の調達が肝要です。機動力の確保を目的として、復旧活動に不可欠な水道配管機材工具、バックホー、クレーン付トラック、油圧ブレーカーなどの機材を緊急時に円滑にレンタルできるようにと、和歌山県全域を対象にした協定が結ばれました。

災害等の応急復旧応援については、県連合会では平成24年8月、和歌山県との間で災害時応援協

定として「災害時における水道施設復旧作業の応急対策への協力に関する協定書」を締結、私たち市の組合では和歌山市水道局との間で、平成12年6月「災害発生時における水道施設の応急復旧の応援に関する協定書」を締結しています。

実際の応急復旧の応援については、復旧施工に携わる協力業者、配管材料等資材の供給、機材の手配等が整ってこそ、迅速な復旧が出来るものです。このような状況を考慮し、組合では漏水修繕工事に参加している事業者と、技術力を生かして協力協定を結び、組合事業の材料納入業者7社とも災害時における水道施設復旧資材の優先供給に関する覚書を締結、この度の県連合会と西尾レントオール株式会社との機材の優先的な提供協定により、災害時の応急復旧体制が確立しました。



# 青年部の動き

## 青年部 第18回通常総会開催



青年部の第18回通常総会が、去る6月22日(土)午後6時から、組合本部3F会議室において開催されました。

当日は、池田直仁幹事〔I.K.Dイケダ設備サービス〕の司会で進行し、議長には中村伸行監事〔中村設備工業株〕が選出されました。平成24年度事業報告並びに決算報告、続いて25年度事業計画(案)並びに予算(案)が審議され、全議案が原案どおり承認されました。また、中井啓仁会長〔株三田設備工業〕の任期満了に伴い役員改選が行なわれ、新会長に前副会長の中山清誠氏〔株中山建設〕が選任され就任いたしました。

総会終了後の懇親会は、場所を移して市内の飲食店で開催されました。親組合理事の方々にも出席をしていただき、石橋祐也幹事〔有石橋工務店〕の司会で進行、西岡廣秋副理事〔有西岡水道店〕の乾杯の発声により始まりました。途中、青年部を卒会となりました石橋洋二理事〔有石橋工務店〕からのご挨拶、青年部中山新会長の就任のご挨拶、新規入会者の紹介があり、楽しい時間を共有いたしました。

青年部の新体制が決まりましたのでご報告いたします。

### 青年部新役員

会長	中山清誠	〔株中山建設〕
副会長	森田大介	〔森田鉄建株〕
副会長	杉山勤	〔有ロータリーサービス〕
会計	斉藤孝幸	〔伸紀建設〕
幹事	池田直仁	〔I.K.Dイケダ設備サービス〕
幹事	石橋祐也	〔有石橋工務店〕
幹事	植野誠	〔株小佐田設備工業〕
幹事	中口泰樹	〔ヤスキ水道設備〕
幹事	中澤伸悟	〔株中澤工業〕
幹事	藤本真司	〔株藤本水道〕
幹事	山下大樹	〔山下アロー設備株〕
監事	斉藤寛史	〔株藤島建設〕
監事	中村伸行	〔中村設備工業株〕

### 新しく加入された会員

寺本元紀	〔株中澤工業〕
森本匡紀	〔中村設備工業株〕
上野伸章	〔株藤本水道〕





## お正月あそびの由来

あけましておめでとうございます。  
今年も皆様にとって良い年になりますよう  
お祈り申し上げます。

さて、正月といえば昔は親戚が集まって  
大人は宴会を開き、子供は子供同士でいろ  
いろな遊びをしたものでした。

昔の正月の遊び、まずは「凧揚げ」。  
凧揚げは、古来中国で占いや戦いの道具と  
して使われていました。日本へは平安時代  
に貴族の遊びとして伝わりましたが、戦国  
時代になると、敵までの距離を測ったり、  
遠くに放火する武器として使われました。  
江戸時代になって、男の子の誕生祝として  
凧を揚げるようになり、庶民の遊びとして  
も定着したそうです。

「羽根つき」は室町時代に中国から伝わっ  
た羽を付けた硬貨を蹴る遊びが奈良時代に  
あった毬杖（ぎっちょう）という女子の神  
事（長い木製の槌で木の毬を相手陣地に打  
ち込む遊び）と一緒にしたものが子供の  
厄を払い健やかな成長を願う羽根つきに変  
化したようです。

ちなみに、左利きの人左手で杖を持った  
のが左ぎっちょうの語源になっているという  
説もあります。

「福笑い」の起源ははっきりしませんが、  
明治時代ごろから正月の遊びとして定着し  
たようです。目、鼻、口などの部品を目隠  
しをして置き、できた顔がおかしいのでみ  
んなで笑う—笑う門には福来る—と縁起が  
いいことから正月にふさわしい遊びになっ  
たようです。

「独楽（こま）回し」は世界中でみられ

る遊びで、エジプトで発見された紀元前  
1500年ごろのものが世界最古の独楽のよう  
です。日本へは奈良時代に唐から高麗（こ  
うらい又はこま）を経由して伝わったので  
「こま」という名前になったそうです。独  
楽回しも江戸時代に庶民の遊びとして広が  
りました。

「双六（すごろく）」は古く古代メソポタ  
ミアが起源であると考えられています。そ  
の後古代エジプトに伝わり、古代ローマか  
ら中国を経由して日本に入ってきました。  
正倉院に聖武天皇が遊んだとされる双六盤  
が残されているそうです。この遊びも江戸  
時代に「道中双六」「芝居双六」「出世双六」  
などで遊ばれるようになりました。

このように見てみると、古くからの遊び  
は中国から入ってきて江戸時代に流行した  
ものが多いようです。

今では、凧揚げをする場所もなく、スマ  
ートフォンやパソコンのゲームに必死にな  
って昔の遊びをすることはほとんどなくな  
ってしまいました。

あなたは子供のころ正月はどんな遊びをし  
ていましたか？

今では、正月はやっぱり、おせちを肴に酒  
ですか？





趣味のコーナー



# Uちゃんの 何と! 驚きました

## 歴史秘話—ヒストリア (水道組合の歴史・総集編) 第1弾

Uちゃんの『何と驚きました。組合秘話 平成26年新春号』は第3弾にわたり一年後には70周年を迎える当組合が戦後どのように発足し、いかに苦難な時を乗り越え、今日の繁栄を築き上げてきたのか、平成の時代が四半世紀を過ぎ、当組合でも平成生まれの若者が活躍しつつある今、改めて昭和時代の組合を振り返ってみます。今回の「紀の水」編集には組合最年長でもあり前理事長の現相談役、大昌商会会長 山本昌彦氏(昭和2年1月27日生 86歳)と組合の大番頭役を担った元副理事長の白井商会社長 白井良忠氏(昭和7年5月18日生 81歳)の対談を交え当時の組合秘話を語って頂きます。

第1弾 — 『戦後からの復旧(組合設立へ)』 昭和21年～

第2弾 — 『水道会館(現本部)購入へ』

昭和50年～・第一期 山本・白井体制

第3弾 — 『平成を迎えて(事業部設立・青年部設立へ)』

・第二期 山本・白井体制

### 第1弾『水道組合設立へ』

【組合創立50周年回想対談】 組合50周年記念誌より

平成7年11月の初代理事長小向正雄氏(明治40年生、当時88歳)、山本昌彦理事長の両氏による対談(※一部抜粋)



昭和20年7月9日の「和歌山大空襲」による市の被害は全焼2万7,402戸・重軽傷者4,438人・死者1,101人という大惨事であった。市街の約70%を消失、市街地は一望の焦土と化した。戦後、この焦土を応急復旧する一方、将来を展望した新しい和歌山市建設を目指す戦災復旧計画が樹立した。特に戦災被災者を対象とする住宅建設は最も急を要した。

**山本理事長(前)** 「昭和21年組合をお作り頂いた直接の動機はどうでしたか、お聞かせください。」

**小向正雄氏** 「終戦直後で今の若い方々は夢にも解らない



左から 山本前理事長・濱本事務局長・白井元副理事長

ことと思いますが、現在の丸正百貨店(旧店)を除いて市内一円が空襲で焼け野が原であり、占領行政として進駐軍が行政官として和歌山市に着任されてきました。(現在の月山病院の位置に軍政部があったように憶えています)。県庁には渉外課があり、進駐軍の事務所、宿泊施設等の水道施設が私の会社(小向商会)に注文され、いろいろと忙しい毎日でした。外に団体もなく色々と苦心した時代でした。和歌山市も鈴木市長と言う官選最後の市長の時代であり、昭和22年4月に初めて民選として高垣市長が誕生され(昭和22.4～昭和41.5)色々相談頂きました。現在の水道局も水道課という時代でした。復興の社会情勢から大阪、遠くは岡山方面や全国各地から業界としての色々の連絡があり、組合の必要性を見をもって痛感させられました。当時の水道課の山本課長に色々指導うけましたが、同業も数社であり、当局も団体組織を嫌われた当時の風潮が苦心の一つとして思い出されます。松尾様、金場様、雪野様共々組合としての任意に発足し、私の会社、県医師会館に事務局を設置させて頂き現在の管工事協組合へのスタートとさせて頂いた次第です。」「和歌山市に組合を小数(6社)でしたが作らせて頂き、関西地区の代表として中央と交流させて頂きましたことが思い出されます。」

**山本理事長(前)** 「設立当時のご苦勞がひしひしと感じられますが、楽しかったこと等をお聞かせ頂ければ」

**小向正雄氏** 「組合を作りましたことで、他府県との連絡調整がスムーズに進み、組合を作ってよかったと思いました。又同業各位のご支援で昭和26年に市会議員に当選させて頂きましたことが有難く思い出されます。」・・・

昭和22年9月6日 任意組合から協同組合として正式に設立(24社)される



「敗戦からの復活」を成し遂げ、「高度経済成長」の時代を迎える



昭和47年(設立25周年)には組合加入業者75社となる

・・・次回、第2弾『水道会館(現本部)購入へ』・・・



会社訪問



おじゃマンⅡ号の  
**儲かりまっか!**  
大々 演



有限会社ロータリーサービス

和歌山市松江5丁目8-11  
(平成24年1月に前社長宅より移転)

会社概要

代表取締役 杉山 勤  
昭和49年10月25日生 39歳 A型

創 業 昭和57年 先代 金田五男氏が設立  
平成5年 有限会社に  
平成25年8月 杉山勤氏(甥)が代表取締  
役に就任

従業員数 8名(内 事務職2名)

工事概要 浄化槽維持管理業・一般住宅給排水衛生  
設備工事・リフォーム工事・組合給配水  
管改善工事等

資格等 浄化槽技術管理者(50人槽以上) 2名・  
浄化槽管理士6名・浄化槽設備士2名・  
管工事施工管理技士4名・給水装置工事  
主任技術者4名・1級建築配管技能士等

モットー 「技術力の向上・堅実な仕事・少数精鋭  
のプロをめざす」

家 族 愛妻・子供2人(長女中2・次女小6)

おじゃマンⅡ号『儲かりまっか!会社訪問』—必殺仕事人  
シリーズ・『公認!』—は、前社長金田五男氏(昭和  
18年生・70歳)が浄化槽の管理業(現在約3千件)を主  
に会社を設立し、平成9年杉山社長(当時23歳)の入社  
をきっかけに水道工事業にも参入、平成10年には管組  
合に加入、今年度より青年部副会長として全管連青年  
部理事を担当する現在活躍めざましい『必殺愛妻人』事、  
有限会社ロータリーサービス・杉山勤新社長を紹介いた  
します。

おじゃマンⅡ号：新社長就任おめでとう、金田前社長(会  
長)が23歳で広島から仕事で和歌山に赴いて40歳で会  
社設立やから「同じタイミング」で二代目に引き継いだわ  
けやな、おじゃマンも会長からの付き合いも含めてなが  
いわー。紀の水10号(2007年1月)で会社訪問してから  
でも7年になるわ。会社経営も引き継がなあかんけど  
会長もいろいろ趣味あるさかい色々教えといてもうてよ。  
ゴルフに、鉄砲(イノシシ猫)に、得意の「蜂の巣駆除」  
もたのむで!さっそく就任祝の会するからな、牡丹鍋で。  
杉山新社長：ありがとうございます。現場も事務所も社

員一丸となって頑張ってます、早  
く組合のゴルフコンペにも参加  
できるように練習始めました。イ  
ノシシとハチは会長にまだまだ頑  
張ってもらいます。(少々苦手らし  
い・・・そこに会長が乱入しばらく  
蜂の巣駆除談義になる・・・)



おじゃマンⅡ号：そーいえば、7年  
前に取材に来た時に見せてもらっ  
たスズメバチ撃退用ロボコップ「ふりかけ親方」はまだ現  
役?  
妻(ハチ)のひとさし

杉山新社長：昨年角界は引退しましたが水道業界では  
現役続行です。それにおじゃマン憧れの事務員(中村佳  
江)さんもがんばってきてくれています、今は、申請書  
書類関係はもちろん、図面も下書きしとけばCADを使っ  
て作製してくれるんでほんま!たすかるわ、相変わらず  
毎朝6時半に自宅をでて、8時には会社に来てるけど。

おじゃマンⅡ号：あのかわいい二代目職場の花(紀の水  
10号)さんやな、会長もおるしそれにべっぴんさんの奥  
さん(恋愛4年&結婚16年)も事務手伝ってくれてるそう  
だし「安心・安全」の事務所やな

杉山新社長：妻&皆さんには『感謝!感謝!感謝!』がモ  
ットーです。

※よくできました・・・『必殺愛妻人!』・・・公認!




左から 金田前社長・奥様・杉山社長・中村さん







## 編 集 後 記





 謹んで新春のお慶びを申し上げます。組合員の皆様には、輝かしい新年をお迎えのことと存じます。本年も倍旧のご指導を賜りますようお願い申し上げます。


 お正月にはかかせない「しめ飾り」(しめ縄)、最近では、どこの家庭でもスーパーやホームセンターで購入しますが、地方に行きますと、自前で作ったものです。「しめ縄」には、家屋の軒下や神棚の前に掛渡す「ボウジメ」と環状の「ワジメ」の2種類があり、わらはもち米のわらを使い穂先の方から編み始め、途中で何本かを編み込まずにわざと垂らします。通常は、7・5・3本を垂らしますが、井戸へ飾るしめ縄は、2・5・3(ニゴサン)、便所に飾るしめ縄は、4・5・3(ヨゴサン)を垂らします。白いピロピロと紙を垂らしたものを「紙垂(シデ)」と呼んでいます。飾る日は年末の29日「苦が待つ」、31日は「一夜飾り」といって避けるので、27、8日か30日という家が多いようです。

 昨年(2013)の年末に衆議院選挙が実施され、民主党中心の政権から自民・公明党に政権交替がなされ、7月の参議院選挙を経て、ようやく「決められる政治」が始動しました。アベノミクス効果か、和歌山市では昨年末の新地(アロチ)は、

例年になく忘年会で賑わったそうです。4月からの消費税増税に向けて景気の腰折れなく、さらに次なる10%が予定されている平成27年10月に向かって、景気が維持されることを願うものです。我が業界も年末に加えて消費税増税の駆け込み需要からか、組合員の皆様にはご多忙の様子、誠に喜ばしい限りです。


 今年の干支は「午」、本来の読みは「ご」。「杵(きね)」の原字で、十二進法では前半(午前)が終わり後半(午後)が始まる位置にあり、その交差点を「正午」というわけです。午は「つきあたる」「さからう」の意味で、草木の成長が極限を過ぎ、衰えの兆しを見せ始めた状態を表していると云われていますが、はてさて……。

 本号からUちゃんの何と驚きました……。歴史秘話を山本昌彦前理事長、白井良忠元副理事長にご登場頂いて三回に渡って掲載されます。乞う、ご期待!!

 今年の冬は、ことのほか寒い年となりそうです。本年も皆様にとりまして幸多き年でありますようお祈り申し上げます。

(編集委員 H生)

## ■組合だより 紀の水

- 発行  和歌山市管工事業協同組合  
理事長 小 向 俊 和
- 編集 紀の水編集委員会

〒640-8251 和歌山市南中間町12  
TEL(073)436-6801  
FAX(073)436-6804  
URL <http://www.w-kankoji.com>  
E-mail:wakayama@w-kankoji.com